

国内におけるツマアカスズメバチ防除の取組状況

平成 24 年 10 月に長崎県対馬市上県町佐護において、日本で初めてツマアカスズメバチ (*Vespa velutina nigrithorax*) が発見・捕獲された。翌年には次々と巣が発見され、対馬市に定着していることが確認された。本種は生態系へ影響に加え、養蜂などの産業への影響、人体への刺傷被害も懸念されている。現在、侵入地である長崎県対馬において、国、県、市の連携のもと、分布調査、効果的な防除手法の検討及び防除が計画、実施されている。

これまでの調査及び防除（平成 26 年 9 月まで）

- ・環境省九州地方環境事務所は、平成 25 年度には防除対策の検討のための基礎資料として、文献資料による調査、対馬におけるツマアカスズメバチの状況把握、防除手法の検討を行った。
（文献 ）平成 26 年度にはツマアカスズメバチの対策にあたっての基礎情報としてスズメバチ類の分布等を把握するため、対馬市において、市内の道路沿いなど約 120 ヶ所にトラップを設置し、スズメバチ類のモニタリング調査を実施した（平成 26 年 7 月 22 日から 8 月 10 日）。
（文献 ）
- ・対馬市は、分布状況は把握しきれていないものの、平成 25 年度には巣は 56 ヶ所確認され、同年度内で 24 ヶ所の巣の駆除を実施した。平成 26 年度には、これまで巣は 77 ヶ所確認され、55 ヶ所の巣の駆除を実施した（文献 、対馬市より聞き取り）

今後の調査、防除等の計画

環境省（文献 ）

- ・対馬でのスズメバチ類のモニタリング調査
- ・巣の探索・撤去並びにトラップを用いた防除の野外実験
- ・研究機関と連携して薬剤防除試験についての検討
- ・普及啓発の実施
- ・対馬外での侵入状況のモニタリング

長崎県（文献 ）

- ・鳥獣保護員による生息状況の情報収集
- ・未侵入地域への拡大防止のための注意喚起
- ・対馬市に対し、「緑といきもの賑わい事業」による補助
- ・現在見直し作業が行われている長崎県生物多様性保全戦略（改定案）において、ツマアカスズメバチを対馬以外に侵入させないとの目標を設定

対馬市（文献 ）

- ・巣の撤去

【参考資料】

環境省九州地方環境事務所，2014．平成 25 年度対馬におけるツマアカスズメバチ侵入状況調査及び防除手法検討業務報告書．55pp．

環境省九州地方環境事務所，2014．スズメバチ類のモニタリング調査について．環境省平成 26 年 7 月 17 日報道発表資料．

対馬市自然共生課，2014．ご注意ください!!ツマアカスズメバチ．広報つしま 7月号，p. 23．

長崎県，2013．平成 25 年度 11 月定例月議会環境生活委員会・環境生活分科会会議録．長崎県議会，pp. 132-133．

長崎県，2014．平成 26 年 3 月定例月議会・環境生活委員会・予算決算委員会（環境生活分科会）会議録．長崎県議会，pp. 131-132．

長崎県環境部，2014．長崎県生物多様性保全戦略（改定案）．長崎県，63pp．